

チェーンメールは絶対無視！

メールが届いている。
だれからのメールかな。

ウィルスメールがはやっています。
みんなに知らせるために、このメールを友だちに送信してください。
すぐに知らせてください！！！！

たいへん。早く友だちに知らせないと。すぐに、メールしよう。

同じメールがたくさん届くようになったな。どうしたんだろう。このウイルスについて調べたら、こんなウイルスはないのかな？

こんなメールが届いたら、どうすればよかったのか？

携帯電話にもたくさん来るんだよね。

このようなメールをチェーンメールといいます。内容には次のようにさまざまなものがあります。
幸福・不幸（の手紙）
宣伝、募集、
誹謗中傷（嫌がらせ）など

ポイント

チェーンメールは転送させることを目的としているため、さまざまな脅迫の言葉によって、メールをあなたに転送させようとしています。しかし、「怖いから」と友だちに送ってしまったメールは、転送され続け、今度はあなたが迷惑で有害なメールを送信した加害者となってしまいます。絶対転送しないようにしましょう。

< 背景 >

パソコンや携帯電話を使っている人の多くが、なんらかのトラブルを経験しています。その中で、特に多いのが、チェーンメールや勧誘メールなどの迷惑メールに関係するものです。これらのメールは、いたずら目的で送信されることが多く、人の善意や心の弱さを利用し、複数の人に転送するよう指示をして、ねずみ算式にメールの数が増えてしまうことがあります。迷惑メールは、受信者に迷惑をかけるだけでなく、ネットワークに多大な負荷を与えています。

< 事件事故の例 >

例 迷惑メールを送信した男を逮捕

発信元を隠して不特定多数に迷惑メールを送信し、宛先不明のため返信された大量のメールでプロバイダの業務を妨げたとし、偽計業務妨害の容疑で男を逮捕した。

< 指導上の留意点 >

携帯電話の普及により、メールは子どもたちの間でも大きなコミュニケーション手段の1つになっています。チェーンメールの指導に関するポイントについては、次の3つが考えられます。

1. どんなメールがチェーンメールかを理解させる。
2. チェーンメールはなぜ悪いかを理解させる。
3. チェーンメールの種類について理解させる。

受け取ったチェーンメールをだれかに転送してしまうことは問題の解決にはなりません。果てしなく続く、迷惑の連鎖の始まりです。送った友だちがさらに転送していけば、またいつか自分に倍以上になって戻ってくるかもしれないことを理解させましょう。

< 解説例 >

A子さんに、「このメールを止めると、今までの転送代を支払わなければなりません。現在の累計料金は206,265円です。」というメールが届きました。怖くなったA子さんは、コンピュータ会社に勤める父親に相談しました。すると、父親は、「他の人の料金を請求されることはないんだよ。」と教えてくれました。それでも心配なA子さんのために、父親は消費生活センターに電話をしてくれました。「メールの送受信を肩代わりすることはできません。デタラメなので安心してください。」という説明を聞き、安心してメールを削除しました。

